

「トランキングでは4の体力は洛陽工の猛練習を見た。お世話になった週5回練習する。」

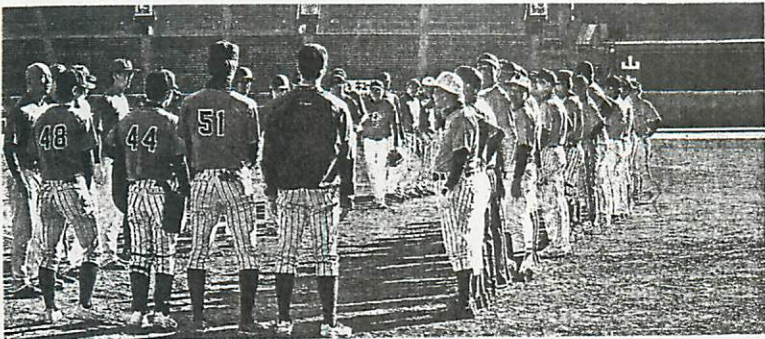
「アスナビ」を活用して歯科医院用品のディーラーに入社し、働きながら週5回練習する。「お世話になった週5回練習する。」

初受賞に笑顔
女子53歳の八木が世界選手権で初の入賞を果たした。「80点くらいかな。国際大会はいい思い出を思い出させてくれた。」

大準硬式野球部と台湾政治大

れ「聖地」で日台交流

OBら150人甲子園で試合



甲子園で親睦を深めた滋賀大教育学部準硬式野球部OBチーム(右列)と台湾政治大OBチーム(甲子園球場)

育学部(大治大(台北市)野球部)硬式野球部のOBを招いた親善試合がある台湾政治大OBチーム(甲子園球場)で行われた。両チームの選手ら約150人が集い、台湾でも人気の高い甲子園を舞台に親交を深めた。同準硬式野球部は昨年、国際交流の一環で台湾に遠征。その際に対戦した台湾政治大との縁が深まり、今年は日本での試合を企画した。台湾では、戦前の全国中等学校優勝大会に挑んで準優勝を飾った嘉義農林学校を描いた映画「KANO」が931海の向こうの甲子園がヒットしており、両者の憧れの地で試合を行うことになった。台湾からは年配のOBを中心に約80人が来日し、滋賀大は現役部員やOB約70人が参加した。この日に合わせて作った記念Tシャツを全員が着てプレー。硬式、準硬式、軟式の3種類のボールを使った。それぞれの試合を行った。記念写真を撮り、談笑しながら「聖地」での一日を楽しんだ。試合後は球場の一室で懇親会を開き、一緒に映画も鑑賞した。台湾政治大OBで現在は台湾師範大の林伯修准教授(52)は「素晴らしい球場。夢のよう」と喜び、同準硬式野球部OB会の西岡義夫名誉会長(81)は「人生の一大イベントになった」と声を弾ませていた。

(小池直弘)

Kyoto & Shiga Sports

目の準々決勝が行われ、違法賭博問題による出場停止処分が解けて2季ぶりに参加した男子シングルの桃田賢斗(NTT東日本)は武下利一(トナミ運輸)に0-2で敗れた。大塚彩(トナミ運輸)らとともに4強入りし、女子ダブルスでは、世界選手権準優勝の福島由紀、広田彩花組(再春館製薬所)、リオデジャネイロ五輪金メダルの高橋礼華、松友美



元プロ野球で挑んだシドニー五輪で登板した立命大時代のびわこ成蹊を振り返り、「目標が

元プロ野球で挑んだシドニー五輪で登板した立命大時代のびわこ成蹊を振り返り、「目標が

元プロ野球で挑んだシドニー五輪で登板した立命大時代のびわこ成蹊を振り返り、「目標が

それを含めてバドミントン。今日は武下選手が勝つべくして勝った」とさわやかに相手をたたえた。来季、日本A代表に戻れるかは選手強化本部の推薦次第となった。元世界ランキング2位と実力は折り紙付きだが、不祥事で外れた選手という点や、原則4人の枠に対して8強止まりだということ事をどう評価するか。桃田は「プレーだけでなく、



記者会見で写真撮影に応じる大迫傑(後列右から2人目)と川内優輝(同4人目)、イエマネ・ツエガエ(前列左)ら。1日、福岡市

26歳大迫が闘志「先頭争い絡む」あす福岡国際マラソン福岡国際マラソン(3日・平和台陸上競技場発着)に出場する有力選手が1日、福岡市内で記者会見し、初マラソンだった4月のボストン・マラソンで3位に入った26歳の大迫傑(ナイキ・オレゴンプロジェクト)は「い

「先頭争い絡む」あす福岡国際マラソン福岡国際マラソン(3日・平和台陸上競技場発着)に出場する有力選手が1日、福岡市内で記者会見し、初マラソンだった4月のボストン・マラソンで3位に入った26歳の大迫傑(ナイキ・オレゴンプロジェクト)は「い

昨年大会日本勢トップの3位で、8月の世界選手権に出場した川内優輝(埼玉東洋)は「表彰台を狙う。30歳まで先頭集団に残ればいい。2週間を狙うイエマネ・ツエガエ(エチオピア)は「非常によく仕上がっている。連覇できる自信はある」と話した。

2020年東京五輪の代表選考会への出陣権が懸かるが「自分の走りできれば出場資格もついてくる」と自信を示した。

「非常にいい試合だった。試合時間は短縮などを目的として検討されてきた。格付けの低い大会では既に試験的に導入されている。(共同)